

## 瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム報告

令和4年11月19日に瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムを開催しました。御協力、御参加いただきまして、ありがとうございました。

〈開催日時・会場〉 令和4年11月19日（土）午後2時から4時まで 会場：あじさいプラザ

〈出席者人数〉 84人（事務局除く）

〈内容〉

- 1 【基調講演】過去の災害から考える“おたがいさま”で支え合う地域づくり  
～見守り合いの地域活動～

講師：瀬谷区高齢・障害支援課長 小西 美香子

- 2 【地区発表】「見守り」につながる地域活動の取組について

- (1) 瀬谷第四地区「楽老峰自治会見守り隊について」

楽老峰自治会会長 田辺 亀久男氏

- (2) 細谷戸地区「地域の見守りについて」

細谷戸地区社会福祉協議会会長 木下 信義氏

- (3) 瀬谷第一地区「見守り活動 WAT運動 その特徴と最新状況」

瀬谷第一地区社会福祉協議会会長：水村 明氏

- (4) 宮沢地区「つながりをたやさない宮沢まちづくり～コロナ禍での見守り活動～」

宮沢地区社会福祉協議会事務局長 清水 敬友氏

- 3 【報告】全域計画の推進について

報告者：瀬谷区福祉保健課長 吉川 正則

〈当日の地区発表の様子〉

瀬谷第四地区、細谷戸地区、瀬谷第一地区、宮沢地区の代表の方から、見守りの取組で目指していることや大事にしていること、見守りの取組を継続していく上での課題について発表していただき、法政大学教授の名和田是彦先生に講評をいただきました。4地区の素晴らしい取組から新たな気づきがあり、今後の参考になりました。（参加者アンケート：裏面参照）



田辺氏（瀬谷第四地区）



木下氏（細谷戸地区）



水村氏（瀬谷第一地区）



清水氏（宮沢地区）



法政大学教授 名和田 是彦氏

〈アンケート結果（回答総数66人）〉

| 1-1 基調講演  | 1-2 地区の発表  | 2 日頃の取組に活かそうか  |
|---|--|--|
| ①参考になった：59人（89%）<br>②一部参考になった：7人（11%）<br>③参考にならなかった：0人（0%）<br>④無回答：0人（0%） | ①参考になった：52人（79%）<br>②一部参考になった：10人（15%）<br>③参考にならなかった：0人（0%）<br>④無回答：4人（6%） | ①はい：54人（82%）<br>②いいえ：0人（0%）<br>③どちらとも言えない：7人（11%）<br>④無回答：5人（7%） |

【基調講演】

- ・「平時にできないことは災害時でもできない。」防災でも、平時のご近所の皆様の声掛けによる参加でも、訓練の積み重ねが備えの一つと感じました。自助・共助について改めて考えなければならぬと思いました。
- ・過去の災害の事例でしたが、地域の結びつきや「おたがいさま」で支え合うことが、いかに大切かを実感しました。
- ・実際の被災地での支援を聞き、改めて共助の大切さを感じました。
- ・皆が遠慮なくSOSを出せる、受けるのは大変だけどやらなければいけないと思った。
- ・平常時の取組を通したつながりが有事の際に困難を乗り越える力となることを改めて知りました。

【地区の発表】

- ・要援護者が把握できるマップは参考になった。住んでいる地区でも同じようなシステムを作ってほしい。
- ・新聞販売店と協力・連携は素晴らしいと思いました。
- ・それぞれの地区の取組からアイデアをもらえた。4地区それぞれ、その地区に合った方法が素晴らしい。
- ・宮沢地区のホームページ立ち上げは素晴らしい。地道な活動を継続することの大切さを感じた。
- ・細谷戸地区の安心キットや「おあしす102」も素晴らしい地域力だと思います。担い手不足は共感します。
- ・どこの地区もできることから少しずつ前に進んでいると感じた。
- ・自分の地区でもやっているが、もう一步踏み込んでやらなくてはいけないと考えさせられました。
- ・見守りにおける活動なので、比較したりその方法もいろいろ分かりやすかった。

【日頃の取組に活かそうか】

- ・すぐにも活かせるものがある。
- ・民生委員です。見守りの在り方、地区内での見守りのあり方の参考にします。自治会との共有を進めていきたい。
- ・抱える問題点は共通項が多くあるので、参考になりました。
- ・楽老峰のまとめの「一方的な見守り活動ではなく…」は、初めて気付いたことです。
- ・自身の地区の今までの取組もあるので良いところをまねしていけたらと思います。

【今後取り上げてほしいテーマや聞きたい情報】

- ・居場所づくりは女性の参加が多い。男性の参加について考えていただきたい。
- ・子どもや障害をテーマにしたもの。
- ・認知症に対する知識を知りたい。認知症の方の関わり方など。
- ・子どもサロンの運営について。
- ・人権関連について基本的な問題を確認できる場が欲しい。
- ・高齢者の生きがいづくりについて。
- ・交通サポートをテーマにしてほしい。高齢化により買い物、病院、駅までの移動手段の解決方法について。
- ・外国人との関わり方や地域の活動に参加している外国人の方の話をきいてみたい。
- ・各地区で課題となっている担い手問題の事例。チームづくり。

【自由記載】

- ・地域福祉保健計画については「よくわからない」「知らない」人が多いと思いますが、シンポジウムに参加するとよくわかり、取組の必要性が理解できると思います。ぜひ、もっと多くの方が参加でき理解を深められるといいと思いました。
- ・見守りが必要な人と見守りをする人のバランスが取れている地域は活力があると感じました。
- ・地域福祉保健計画に沿い各地区が工夫を重ね、住みよいまちづくりに取り組んでいると感じた。
- ・見守りに絞ったシンポジウムは聞きやすかった。ただ、少々、新鮮味に欠ける感がありました。
- ・普段なかなか考える機会がない内容について改めて考え、気づきが得られる機会となりました。
- ・顔の見える関係づくりが全体につながると感じました。